

今年度の取組と自己評価及び次年度への課題

1 今年度の取組目標と方策

(1) 教育活動の目標と方策

① 学習指導の充実を図る。

自己評価

- ・ 若手教員等に対し、求められている力（思考・判断・表現）を付けるための授業の工夫に関する指導を継続的に行った。研究授業を参観し、徐々に力量が向上してきていると感じている。若手の研究授業については、20名以上の教員が参観した。指導教諭の研究授業に教員が参加した。
- ・ 学校評価より生徒の授業満足度「82.4%」（生徒の授業満足度 昨年79.1）
- ・ 学校全体が落ち着いてきており、学校全体として授業の充実を図ることができた。普段の日の補習・講習、センター試験の受験対策講習などを開講し、長期休業中を含め計55講座を実施した。

課題

- ・ 授業規律の確保は十分に達成でき、ICTの活用もかなり図られてきている。学校図書館を活用した授業展開も多数行われてきており、図書館利用者数も増加している。これからは、貸出数の増加につなげるようにさらに図書館利用者を増やしていく。

② 体系的な進路指導を推進し、希望進路の実現を図る。

自己評価

- ・ 大学、専門学校、就職（公務員）と生徒の希望進路は多様であるが、いずれの進路についても充実した対応ができており、中堅校である本校の役割を果たすことができた。
- ・ 進路決定率を向上させるため、安易な浪人はさせない指導を行ってきている。一定程度の受験浪人は生じたものの92%という過去最高の進路決定率となった。
- ・ 学校評価より「84.3%」（生徒の進路指導満足度 昨年79.0）

課題

今後全面改築を踏まえ、新築校舎完成に向けて確実な人気校としての地位が確立できるように進学実績の継続的向上が求められる。その一方で、進路決定率が最高値に達したことから、今後も、進路確定を着実に進めていく。

③ 基本的な生活習慣の指導徹底し、生徒理解の深化を図る。

自己評価

- ・ 自転車マナーに関する近隣の苦情が時折生じるため、セフティ教室として府中警察と連携し、スタント用いて全校生徒の指導を実施した。
- ・ 教育相談推進委員会等を計画的に行い、スクールカウンセラーとの連携し、SCによる1年生の全員面接、校内研修を実施した。SNS等における誹謗中傷とうから「いじめ」に発展する可能性のある件に関しては、極めて早期の段階で指導に入ることができており、深刻化することを防いだ。
- ・ 学校評価より「82.9%」（生徒の生活指導満足度 昨年73.3）

課題

- ・ 自転車による転倒等の事故が時折発生しており、近隣からも苦情が寄せられることがある、

自転車の運転マナーや改正道路交通法について継続的に注意指導していく。

・特別指導については、件数は減ってきたが、教員からは見えにくいSNS等で発覚するようなケースも発生しており、SNSの利用の仕方併せて指導していく必要がある、

④部活動充実校として部活動・特別活動等の充実を図り、学校生活に意欲をもたせる。

自己評価

- ・部活動の実績が向上し、全国制覇した和太鼓部に関しては、地域への伝統継承的な貢献が認められ、教育委員会から児童・生徒等表彰を受賞した。
- ・ボクシング部では、関東大会への連続出場し、女子が関東大会で優勝するなどの成果を上げるとともに、顧問教員の指導が認められ、グッドコーチ賞を受賞した。
- ・部活動加入率は72%（目標80%）となり、初めて70%を超えた。

課題

- ・部活動への加入率をさらに増加させ、部活動を通じた生活指導をより一層推進していく。
- ・部活動の実績向上と進路実績の向上の両輪を一層推進し、学校としての文武両道を示していく。

⑤ 入りたい学校を目指すため、広報活動に力点をおき、入学者選抜の倍率を確保する。

自己評価

- ・近隣中学校への高校説明会には積極的に参加し、26年度を超える中学生の保護者からの関心を集めることができた。
- ・学習塾を継続してまわり（南武線・中央線）、ほとんどの学習塾から本校について好意的な評価を頂いた。
- ・文化祭においては、今年度より土日の両日公開としたところ、計2000名を超える来場者があり、本校への関心の高さが伺えた。

課題

- ・本校は、平成29年度より全面建替が行われることになっており、仮設校舎に移行する時期を迎える。スポーツ施設について、体育館はしばらく残し継続利用を可能とする。グラウンドについても、本校は元々敷地が広大であるため、大半が使用できる予定である。今後の予定について情報が出せるように調整をしていく必要がある。

（2）重点目標と具体的な目標

① 学習指導の充実を図る。

- | | |
|----------------------|--------------|
| ・ 補習及び講習 毎週実施 | →昨年と同程度の実施 |
| ・ 長期休業中の補習・講習 50講座以上 | →46講座 |
| ・ 図書貸し出し数 昨年比10%増以上 | →利用者数が約10%向上 |

② 体系的な進路指導を推進し、希望進路の実現を図る。

- | | |
|-------------------------|--------|
| ・ センター試験受験者 100名以上 | →92名 |
| ・ 難関私立大学又は国公立大学合格者 1名以上 | →1名合格 |
| ・ GMARCH 合格者 5名以上 | →5名合格 |
| ・ 日東駒専以上合格者 10名以上 | →24名合格 |
| ・ 4年制大学への進学率 50%以上 | →41.5% |
| ・ 進路決定率 90%以上 | →92% |
| ・ 就職希望者決定率 100% | →達成 |

③ 基本的な生活習慣の指導徹底し、生徒理解の深化を図る。

- ・ 茶髪 0 →達成した（染色は0）
- ・ 遅刻 年間延べ人数 5 0 0 0 以下 →9 6 6 5
- ・ 特別指導件数 5 件以下 →5 件
- ・ いじめ、体罰 0 件 →0 件
- ・ 装飾品等への指導継続 →ピアスも 0 へ

④ 部活動充実校として部活動・特別活動等の充実を図り、学校生活に意欲をもたせる。

- ・ 野球部 都大会ベスト 4（夏季大会シード権獲得） →今後に期待
- ・ サッカー部 都大会ベスト 8 以上 Tリーグ昇格 →都ベスト 1 6
- ・ 女子バスケットボール部 都大会ベスト 1 6 以上・関東大会出場（5 年以内）
→都ベスト 6 4
- ・ 女子バレーボール部 都大会ベスト 1 6 以上・関東大会出場（5 年以内）
→都ベスト 3 2 維持
- ・ ボクシング部 関東大会出場継続、関東大会優勝
全国大会（インターハイ、全国選抜大会、国体） →関東大会優勝（女子）
→関東大会連続出場
※主顧問が都教育委員会グッドコーチ賞受賞
- ・ 陸上部 都大会出場継続 都大会入賞（3 年以内） 関東大会出場（5 年以内）
→都大会連続出場
- ・ 和太鼓部 全国大会優勝 →全国太鼓甲子園優勝
※都教育委員会の児童生徒等表彰を受賞
- ・ 部活動加入率 8 0 % 以上 →7 2 %

① 入りたい学校を目指すため、広報活動に力点をおき、入学者選抜の倍率を確保する。

- ・ 推薦入試 3. 5 倍以上 →2. 9 0 倍
- ・ 入学者選抜倍率（前期入試）を 1. 4 倍以上 →1. 4 3 倍
- ・ HP 年間アクセス 10 万回以上 →132, 121 アクセス
- ・ 学校説明会来場者数 1500 名以上 →1, 521 名
- ・ 学校見学者数 1500 名以上 →2000 名以上達成

② 組織的な学校運営を推進し、生徒や保護者・地域から満足 of いく学校をつくる。

- ・ 生徒学校満足度 80% 以上 →89. 0%
- ・ 保護者・地域の学校満足度 80% 以上 →87. 7%